

コード No. 28043

**Anti-
SEP1 Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 µg

はじめに : *SEP1* は、高橋らの研究チームにより神経栄養因子 *GDNF* の刺激で発現が増強される遺伝子として報告されました。*SEP1* はどの臓器にも発現が認められますが、*GDNF* で分化を誘導された神経芽細胞腫細胞の神経突起などに局在し、生体内の多くの神経細胞に発現が確認されました。これより神経系の機能に関わっている可能性が示唆されています。

免疫抗原 : Human *SEP1* の部分合成ペプチド

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

包装形態 : 1% BSA、0.05% NaN_3 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 100 µg/mL となります)

保存方法及び : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定

安定性 : 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び : ウェスタンブロッティング 約 0.1 µg/mL にて使用可能

使用方法 免疫沈降法 約 1 µg/mL にて使用可能

免疫組織染 約 1 µg/mL にて使用可能

(凍結切片、4 % PFA in PBS 固定、前処理なし)

特異性 : ヒト、マウスの *SEP1* と反応

参考文献 : 1. Shimoyama Y, Morikawa Y, Ichihara M, Kodama Y, Fukuda N, Hayashi H, Morinaga T, Iwashita T, Murakumo Y, Takahashi M. Identification of human *SEP1* as a glial cell line-derived neurotrophic factor-inducible protein and its expression in the nervous system. *Neuroscience*. 2003;121(4):899-906.